



TOCOM

2023

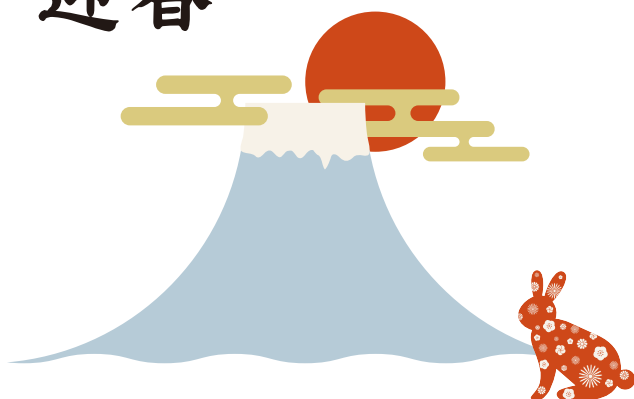
1月号

トヨーサークル

手をつないで明日をつくろう

No. 500

迎春



トヨーサークル本部長
小野 喜明

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

今年は卯年、「芽を出した植物が成長していき茎や葉が目に見えて大きく成長する年」だといわれています。私たちトヨーサークル企業集団は、現在大きな変革の中に居ます。それは光学製造会社として、カメラや事務機からセンシングオプティックに軸を変え、目に見えて大きく成長すること、そのための身を切る、自己を変える苦しみや困難にあると思うからです。

昨年の状況を判断すると、今年は私たちの価値そのものがお客様の要求水準を越えなければ、成長できません。今は越えておらず、受注状況がそのシグナルとなります。お客様の期待をはるかに超えたところに、私たちの成長があります。「光とはなにか？」その答えはまだ現在の科学でも本当に説明されていないと言います。その答えを探りながら、卯のごとく地表を飛びながら、自分たちの成長をしながら、一步一步前進することをお願いします。そして社員の皆様、ご家族の健康第一としてお過ごしください。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

TOCOM

TOYO CIRCLE COMMUNITY MANAGEMENT

年頭所感

ポストコロナのリスタートの年



代表取締役副社長
小野 理

新年あけましておめでとうございます。今年はいよいよポストコロナの年になりそうです。社内では製造本部のスローガンである HI2023 の最終の年度でもあり、新たな中長期計画を立てる重要な年になります。

トーヨーサークルの昨年の展開は Sensing Optics の業務拡大と自動車部品を含めた中核事業の原価低減、付加価値向上活動と組織機能の改革や社員教育、社内制度改革の年でした。コロナ禍の様々な制約の中で外的要因の影響も多くありましたが、社員みなさんの協力、粘り強い対応とおお客様のご理解ご協力ありがとうございました。

いよいよ 2023 年が始まりました。今年はリスタートの年だと考えます。私たち製造業において、ものづくりの基準となる材料費やエネルギー価格、物流費などの経費、人員と人件費、為替、地政学的優位性など、多くがコロナ以前と大きく様変わりしています。分かり易い例では原価と生産、在庫のコントロールは新しい尺度が必要な程、重要な課題になっています。これらはお客様や同業者、世の中全体が同じ環境で同じスタートラインに立っているという事でもあります。困難もありますが、多くのチャンスが生まれ、私たちがコロナ禍で準備してきた真価がいよいよ問われる時代が始まると考えています。

私は昨年「敢」の文字を年頭に掲げ、外部変化の中で方針からブレない行動を心がけてきました。時には受け身の仕事の進め方に厳しく注文を付けたこともありましたが、信念を持って自ら行動することに専念しました。今年は溜めた力を発揮し始める年になるよう努力して参ります。社員の皆様、仕入れ先様、関係会社、同僚、ご家族にとって新しい年が新しい時代の輝点になる様、祈念致します。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

飛躍に向けて 一 備えよ常に 一



常務執行役
位高 光俊

2023年は卯年、世間では兎にあやかって飛躍の年などと良く言われます。しかし昨今はコロナに振り回され、戦争や急激な為替変動、物価高騰、また異常気象による自然災害など、予測困難なことが次々と起き、先が読めないことから不確実性の時代と言われています。

この時代を生き抜くには、日々刻々と移り変わる状況変化に対応する準備とスピード感のある判断が必要です。高い視点と広い視野で社会の情勢をいち早く捉えるとともに、中長期的な展望を持って新たなことに挑戦し、自身を成長させることがとても重要になってきます。不確実性の時代だからこそ、地に足を付けた常日頃の地道な努力がいざと言う時の備えになります。飛躍に向けて備えよ常に！

本年も宜しく申し上げます。

日常業務と改革業務 二刀流で新たな挑戦へ



常務執行役
清水 茂義

昨年「笑」と言う一字に私の想いを込めましたが、今年は「喜」という字に思いを託したいと思います。コロナが世界で蔓延し紛争や気候変動などいろいろな問題が起き悲しいこともあります。早く笑顔を取り戻し平和で楽しい生活を送る“喜”びを感じられる世の中になってほしいと言う願いを込めてこの一字を選びました。

㈱ジュコーは改革から3年、順調に改善が進んでいます。PL技術部門も技術力を発揮して付加価値創出にしっかり貢献できています。しかし、2025年に向けた目標を達成するためには、強い組織が必要であり、個人個人が自分の役割、責任を自覚し“日常業務と改革業務の二刀流”を行えるようになる事が重要です。“やればできる!”という言葉がありますが、“挑戦”するのって生きてる証拠素晴らしい!と思いませんか。

みなさんも、新たな挑戦を行うことで、自分を変え関わる人を変えることで、笑顔で楽しい(喜)未来を創造していきましょう!

新年快樂 恭喜發財 大吉大利



常務執行役
中澤 潤

2023年を迎えまして中国から皆さんに新年の挨拶をお送りいたします。

今年は卯年、うさぎ年は“飛躍の年”といわれます。中国としまして昨年は、豊秀の工場移転、太科の工場集約と新技術への設備導入、と大変お大きな投資をしまりました。

2023年はそれら投資効果を最大限に発揮し、組織の合理化、生産の合理化、さらに新技術による付加価値の増加を目指してまいります。

従って中国として今年は“合理化と技術躍進をする年”と呼びたいと思います。

最後に、亡父が私の大学入学時送ってくれた言葉をもう一度心にし、中国での仕事に励みたいと思います。

男兒立志 出郷関
学若無成 死不還
埋骨豈惟 墳墓地
人間到处 有青山

不透明な経済環境下を アイデアで飛躍の年に



執行役
信長 祐児

2022年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会活動の正常化が図られましたが、ウクライナ情勢、世界的なインフレ、円安等を要因とする、原材料費及びエネルギーコストの高騰、物価高など、製造業にとって厳しい経営環境となりました。

このような環境下で私が担当する工場も受注低迷、経費の増加等厳しい影響を受けておりますが、中期事業計画で進めている、自動化による品質、生産効率の改善、営業活動の活性化、組織力強化は着実に進んだ1年となりました。

2023年も引き続き不透明な経営環境が見込まれますが、お客様にも、トヨタサークルにも必要とされる工場を目指して、社員と一緒に多くのアイデアを出して飛躍できる年として参ります。

五百回記念

TOCOM新聞

TOCOM新聞は、2023年1月号で発刊500回を迎えました。そこで今回は500回を記念して、1981年8月に創刊されたTOCOM新聞を振り返ります。



創刊から42年経ちますが、表紙のデザインは当時のまま変えていません。

現在は全4ページですが、当時は6ページある月もありました。

当時のTOCOM新聞はB5サイズで今よりも少し小さめです。

創刊された頃のTOCOM新聞は、サークル本部で保管されています。興味のある方は一度見てみてはいかがでしょうか。

豊川市消防出初式

令和五年

2023年1月7日(土)午前9時30分より陸上自衛隊豊川駐屯地訓練場にて令和5年豊川市消防出初式が行われました。トヨサークルからは、伊藤 利明さんと平川 裕之さんが参加しました。



還暦祝い

大分工場 佐藤 敏昭さん60歳(還暦)の誕生日を、みんなで集まりお祝いしました。赤いちゃんちゃんこを着た佐藤さんの笑顔が素敵ですね。



おくやみ申し上げます

発行所
トヨサークル 人財開発部・TOCOM事務局
豊川市西豊町二丁目35番地
☎ <0533> 85-1110 (代)